

様式第3号（第9条関係）

会 議 録

会 議 名	平成30年度嵐山町男女共同参画審議会					
開 催 日 時	平成30年12月19日（水）				13時30分	
					15時00分	
開 催 場 所	嵐山町役場 303会議室					
会 議 次 第	1 開 会 2 任命書の交付 3 あいさつ 4 委員紹介、事務局紹介 5 議 題 (1) 会長及び会長代理の選出について (2) 会議録の署名人の任命について (3) 第3次男女共同参画プランの検証について (4) その他 6 閉 会					
公開・非公開の別	公開		傍聴者数		0人	
委員出欠状況	会 長	寺山サキ子	出席	委 員	平川 康司	出席
	会長代理	宮本 紀子	出席	委 員	番場 順子	出席
	委 員	藤野 哲男	出席	委 員	須永 圭一	出席
	委 員	松本 洋治	出席	委 員		
	委 員	引間 紀江	出席	委 員		
	委 員	大久保 勉	出席	委 員		
	委 員	日下部敦子	出席	委 員		
その他出席者						
事 務 局	伊藤課長			青木副課長		
	山口主査					

次 第	顛末（要点筆記）
1 開 会	地域支援課 青木副課長
2 任命書の交付	（伊藤地域支援課長） ・代表で宮本委員へ交付
3 あいさつ	伊藤地域支援課長
4 委員紹介、事務局紹介	・各委員及び事務局より自己紹介を行った
5 議 題 （1）会長及び会長代理の選出について	・会長が決まるまで伊藤課長が進行を行う。 ・推薦により、寺山サキ子委員が会長に、会長の指名により宮本紀子委員が会長代理に選出された。
（2）会議録の署名人の任命について	・事務局より、会議録署名委員については、名簿順で藤野哲男委員、松本洋治委員にお願いしたい旨を説明。了承された。
（3）第3次男女共同参画プランの検証について	・事務局より、第3次男女共同参画プランについて、主に数値結果等について説明した。 （寺山会長） ・事務局からの報告について、意見等あるか。 （引間委員） ・配偶者出産休暇取得率は100%、男性の育児休業取得率は0%とあるが、実際に妻の出産に伴う休暇を取得した職員は何人いるのか。どのくらいの男性職員が育児休業の対象となるのかを教えてほしい。 （事務局） ・実際の取得人数については把握していないが、5人程度と思われます。 （事務局） ・配偶者出産休暇については2日のため、取得している。ただし、職員数も減少する中で、働き盛りの30代の男性職員にとって育児休業はなかなか取りづらい状況にあると思います。ただ、就学時前の子を看護するための休暇は取得する男性職員も年々増えています。 （引間委員） ・長期の休業は難しいかもしれないが、制度が充実しているので、ぜひ男性の育児休業取得を短期間でも活用してほしい。 （平川委員） ・埼玉県でも長期の育児休業の取得は難しい状況ではあるが、1ヶ月間程度の短期間の育児休業を取得している職員がいる。ぜひ嵐山町でもロールモデルとして始めていただきたい。 （事務局） ・人事担当からの制度周知を含め、利用しやすい環境づくりにより、男性も育児に参加できる休暇の取得に努めたいと思います。

(宮本会長代理)

- ・女性の管理職比率は若干伸びているが、以前、女性職員の年齢層の問題や管理職への登用を望まない職員も増えていると聞いた。現在の状況はどうか。

(事務局)

- ・確かに以前は対象となる年代の職員が少なかった時期もありました。今後対象となる年代の女性職員も多くおり、積極的に管理職の登用につなげていければと考えます。

(大久保委員)

- ・民間への啓発も含めて、役場が女性の管理職を多く登用していったほしい。

(松本委員)

- ・待機児童数が増えているが、どのような状況なのか。

(事務局)

- ・特に0歳から2歳の幼児が待機しています。3歳児までの幼児は1人に要する保育士数も多く必要なため、保育士不足が問題となっています。

(日下部委員)

- ・以前は、希望する保育園への入園待ちの方もいると聞いたのですがどうか。

(事務局)

- ・以前は、空いている保育園があっても希望する保育園へ入園待ちをするケースもありました。ただ、現在、町内の4つの保育園はすでに定員に達している状況です。管外保育園への入園も新規で入園することは難しい状況と聞いています。現在、町内にある事業所内保育施設にも受け入れていただいているものの、今年度も待機児童は増加すると予想されるそうです。

(大久保委員)

- ・昔は、家庭で保育したほうが良いなどの考え方もあったし、同居の祖父母が面倒をみる家庭もあった。ただ、核家族化や女性の社会進出などで保育の状況も変わってきている。さらに、事業主側の国の働き方改革への対応や保育士不足を解消する待遇の改善など社会のしくみを見直すことが重要だと思う。

(須永委員)

- ・児童公園の維持管理について高齢化等により地域によっては管理が難しい状況にあると報告されている。地域で管理するのは限界があるので、安心して遊べる場所にしてもらいたい。

(事務局)

- ・ご承知のとおり、福祉に対する扶助費等の増加により町の財政状況はますます厳しい状況です。公園の維持管理はもちろん、道路や施設の維持管理費の予算も削減されている中、町では、平成27年度から「嵐山町まもり隊」として町内の環境美化等の地域を守る活動をしていただくグループを支援しています。もし、ボランティアで公園の維持管理等をしていただけたら物資の支援になりますが、ぜひ「まもり隊」に登録していただきたいと思います。

(番場委員)

- ・男女共同参画の視点を踏まえた避難所運営マニュアルの策定が未策

	定となっているが、状況を教えていただきたい。 (事務局) ・近年見舞われている災害を分析すると、現在の町の地域防災計画等では実際に災害が発生した場合、対応できないと感じています。まず今年度は当初策定したマニュアルを見直し、避難所開設までの職員向けのマニュアルを策定しました。今後、男女共同参画の視点も踏まえた町民を主体とする嵐山町独自のマニュアルを策定したいと考えています。 (引間委員) ・学校教育における男女共同参画のなかで、教職員への研修とあるが、先日ヌエックでも全国の教職員を対象に宿泊研修を実施し、菅谷小学校の協力により出前講座を開催した。未来を担う子ども達への教育は重要と考えるため、今後町内の小中学校でも機会をみて活用していただければと思う。 ・11月12日から25日の「女性に対する暴力をなくす運動」期間にヌエックでパープルライトアップを実施した。町の公式キャラクター嵐丸くんにも参加してもらい点灯式を盛り上げてもらった。今後もさまざまな活動を通じて嵐山町の男女共同参画に協力できればと思う。
(4) その他	(事務局) ・平成29年度作成した「男女共同参画パンフレット～働きやすい職場環境をめざして～」について町内の企業等に配布した旨を報告した。 ・平成31年1月に開催される嵐山町人権問題研修会について、多くの方に出席していただくよう案内した。 (引間委員) ・人権問題研修会の講師はヌエックの職員が講演させていただく。男女共同参画の視点からの、防災と復興に関して知見を持った職員なのでぜひ多くの方に聞いていただきたい。
6 閉 会	宮本会長代理
上記会議の顛末を記載した内容について、相違ないことを証します。 平成 31 年 1 月 21 日 署名委員 <u>藤野 哲男</u> 平成 31 年 1 月 21 日 署名委員 <u>松本 洋治</u>	